

社会資本整備審議会 道路分科会 第3回北海道地方小委員会

議事概要

1. 日 時 平成23年5月17日（火） 13時00分～15時30分

2. 場 所 札幌第1合同庁舎10階 共用1・2号会議室

3. 出席者

[委員長]

加賀屋 誠一 北海道大学大学院 特任教授

[委員]

臼井 純子 (株)富士通総研エグゼクティブコンサルタント
第一コンサルティング本部 PPP 担当理事

高向 巖 (社)北海道商工会議所連合会 会頭

田村 亨 室蘭工業大学 教授

平岡 祥孝 札幌大谷大学短期大学部 教授

古屋 温美 北海道大学大学院 特任准教授

4. 議 事

(1) 北海道横断自動車道（黒松内～余市）計画段階評価の試行について

【委員からの主な意見】

(政策目標について)

- ・ これまで北海道縦貫自動車道が主で、横断自動車道が従というイメージであったが、東日本大震災を踏まえ、日本国民が求める国家像に対して、道路がどのような役割を果たすのか、国家像という視点を持ちこの路線の位置づけを議論すべき。
- ・ 大震災を踏まえ、緊急輸送道路として日本海側の港と太平洋側の港をどう繋いでいくのか、という視点でも検討すべき。
- ・ 大震災以降、ニセコに住んでいたオーストラリアの方々や観光で来られていた台湾・中国の方々にどのような動きがあったか検証する必要がある。本来、当地域において観光は大きな意味合いを持っているが、大震災以降トーンが変わってきているのではないか。
- ・ 防災という視点を、更に強調した方が良いのではないか。有珠山の噴火も含め、防災意識を高めたトーンにした方が良いと思う。
- ・ 政策目標の中に、冬期の交通確保に関する視点が入っていない。北海道の道路の大きな特徴の一つであり、今後、北海道の道路整備を考えていく上で大事な視点ではないか。
- ・ 農業において、大震災で北海道の農業が担う部分が増えてくると考えられる。当路線との関係について整理が必要だが、この計画に織り込んでいくべき。
- ・ 観光について、長い目で見ると北海道の外国人観光客は相当増えると思う。この地域は夏場も冬場も観光がある地域であり、計画に織り込むべき。
- ・ 鉄道による貨物輸送の状況を考えると、道路に依存する部分が多く、今後も道路による貨物輸送のウェイトが増えるのではないか。

- ・ 防災の観点は重要。
- ・ 物流と農業をどのように結びつけて考えていくかが重要。
- ・ 環状機能という意味合いが強いと考えられるので、広域的なネットワークと環状機能の連結を道路として考えるべき。
- ・ いろいろな目標はあるが、どちらからでも行けるというリダンダンシーの確保を図るべき。
- ・ 観光については入り込み客数から考えると、海外からの観光客よりも地元観光・道民観光に視点を置くべき。
- ・ 国際コンテナの輸送に関しては、積み替えしなくてすむよう、非関税障壁のようにならないように考えていくべき。
- ・ 「ニセコは魅力的だが、新千歳空港から時間がかかり疲れてしまう」といった声を聞く。ニセコという地域ブランドは十分あるので、この道路ができることによって更にニセコをPRしていくなど、相乗効果を狙い、経済効果があがるよう仕掛けをつくっていく事が大切。

(路線全体の整備方針について)

- ・ 国道5号線の既存施設（観光施設・商業施設等）に配慮した整備が必要。
- ・ どういった整備の仕方が政策目標に対して効果があるか、検証しながら進めていくことが必要。
- ・ 防災に関して、有珠山噴火の影響が主に出ているが、大地震、津波、原発なども含め様々な災害等を考えなければいけない。

(地域意見聴取の方針について)

- ・ 現状の課題だけではなく、地域の将来像に道路がどのような役割をはたすのか具体的な観点での意見も聞くべき。
- ・ 計画段階評価の意見聴取においては、道路をつくることを前提で意見聴取するのではなく、計画段階評価の位置づけをきちんと説明しながら、広く俯瞰的な見方をしていただけるような聴き方をしてほしい。
- ・ 多様性のある意見聴取を行うため、色々な方に聴いていただきたい。
- ・ 行政の意見だけでなく、まちづくりの活動をしている方や、観光面を考えると他の地域の方の意見を聞くことも必要。バランスを考えながら聴いていただきたい。
- ・ まずは地域の方の意見聴取を行い、段階的に他の地域の方の意見を頂ければと考える。
- ・ 北海道の特色である自然環境や農村景観などを上手に活用して道路を使いたいなどの意見も考えられるので、環境・景観に関する意見聴取も考えてほしい。
- ・ 環境面で配慮すべき点もきちんと説明して、意見聴取することが必要。

以 上